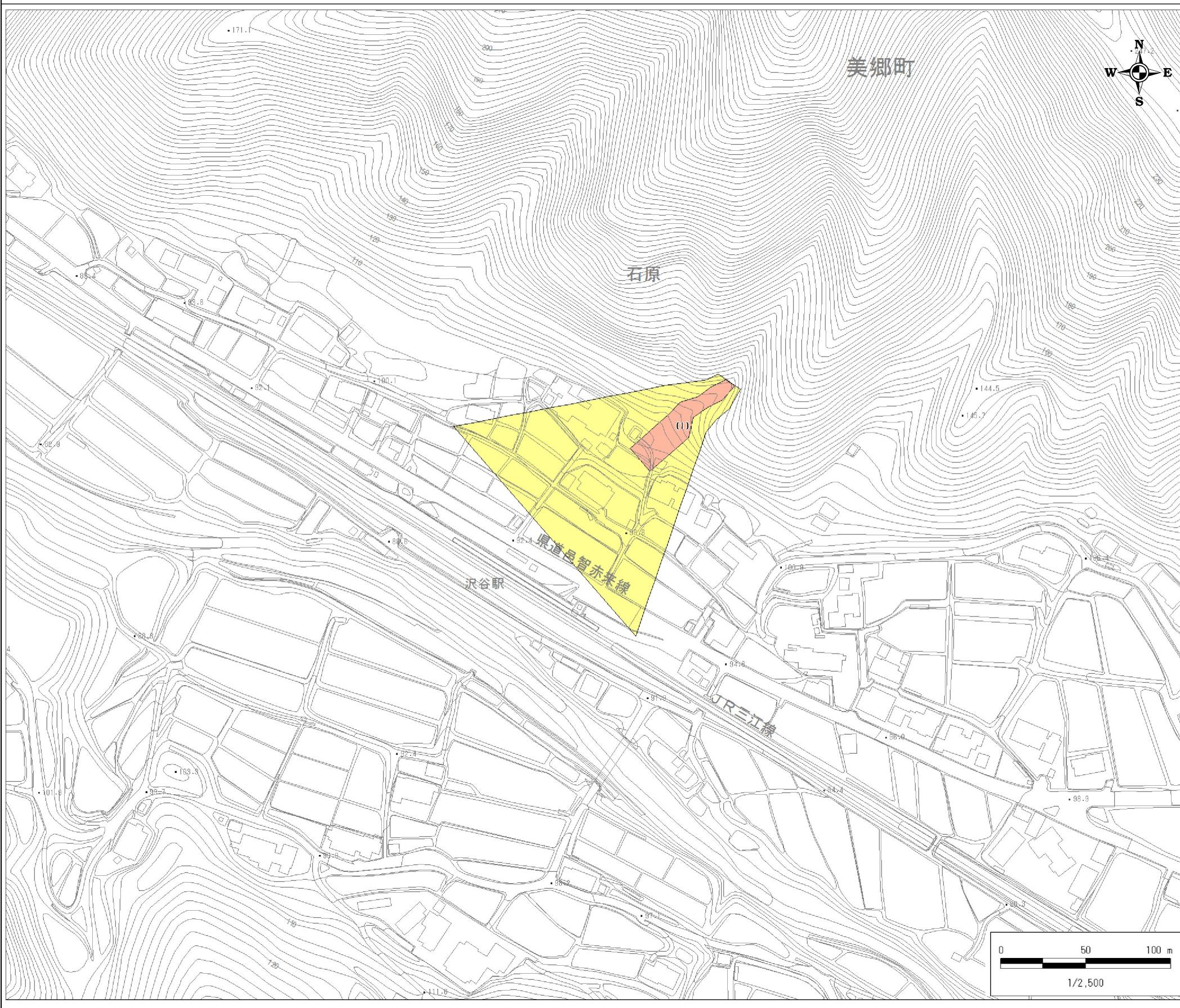


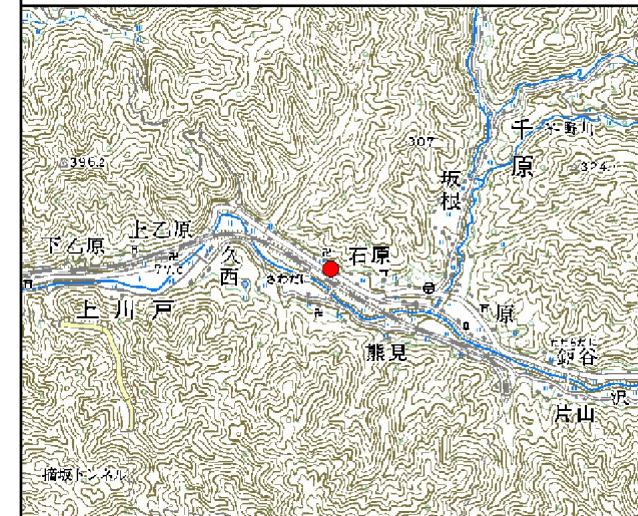
土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域 区域図

縮尺: 1/2,500



| | |
|---------|------------------|
| 自然現象の種類 | 土石流 |
| 基礎調査番号 | 132442A660401017 |
| 箇所名 | 石原B |
| 所在地 | 邑智郡美郷町石原 |

位置図* 縮尺: 1/50,000



*この地図は、国土地理院の数値地図50000(地図画像)を使用したものである。

区域図凡例

| | |
|---|--|
| | 土砂災害警戒区域 |
| | 土砂災害特別警戒区域 ((数字)は区分番号) 土石流の高さが1mを超える区域 |
| | 建築物に作用すると予想される力が 50kN/m ² を超える区域 |
| | 建築物に作用すると予想される力が 50kN/m ² 以下の区域 |
| | それ以外の区域 |
| 道路区域は除く | |

土石等の力の大きさの表示

| 区分番号 | (A) | (B) | 区分番号 | (A) | (B) |
|-------|------|-----|------|-----|-----|
| (1) | 51.2 | 0.6 | | | |

力の区分表記の説明
(A) 土石流により建築物に作用すると想定される力のうち最大のもの (kN/m²)
(B) (A)が当該建築物に作用する場合の土石流の高さ (m)

告示履歴

| | |
|-------|--|
| 告示年月日 | |
| 告示番号 | |
| 告示年月日 | |
| 告示番号 | |

*「土石等の力の大きさの表示」欄で表示される数値は、実数値（計算値）を小数第二位で四捨五入したものです。
そのため、凡例で区別している数値の境界値付近では、凡例の説明と表示数値が一致しない場合があります。

例1) 土石流の高さの計算値が 1.01m の場合、四捨五入により 1.0m と表示されますが、実際は1mを超えていたため、「土石流の高さが1mを超える区域」に該当します。
例2) 「土石流の高さが1mを超える区域」のうち、建築物に作用すると予想される力の 計算値が 50.01 kN/m²の場合、四捨五入により 50.0 と表示されますが、
実際は50kN/m²を超えていたため、「建築物に作用すると予想される力が50kN/m²を超える区域」に該当します。